

# 高校世界史プリント（過去問類似）

## 近世（結びつく世界） No.7

名前

得点

/11

問1 15世紀初頭、諸国に朝貢を促すために、イスラーム教徒の宦官が率いる大艦隊を南海方面へ派遣することを命じた、明の第3代皇帝は誰か。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. 洪武帝                      2. 万曆帝                      3. 崇禎帝                      4. 永楽帝

問2 16世紀末から17世紀初めにかけて、日本の公認商船が東南アジア各地と交易を行うなかで、その首都の郊外に大規模な日本人の居住地が形成され、のちに山田長政が重用されたタイの王朝は何か。 (2022年 全国公立入試 類似)

1. アユタヤ朝                      2. バンテン朝                      3. クメール朝                      4. マタラム朝

問3 17世紀後半のイギリスでは、専制的な傾向を強める国王チャールズ2世に対し、議会对抗措置を講じた。1679年、王権による不当な逮捕や投獄を防ぎ、被疑者の人権を守るためにイギリス議会在が制定した法律は何か。 (2013年 全国公立入試 類似)

1. 権利の章典                      2. 人身保護法                      3. 権利の請願                      4. 権利の宣言

問4 16世紀初頭のネーデルラント出身の人文主義者で、著作などを通じてローマ・カトリック教会の聖職者の腐敗や墮落を痛烈に批判し、のちの宗教改革運動に大きな影響を与えた人物は誰か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. ペトラルカ                      2. エラスムス                      3. ボッカチオ                      4. フィチーノ

問5 15世紀半ばのドイツにおいて、金属活字を用いた印刷技術を改良・実用化した人物は誰か。この人物がもたらした技術は、のちにルターが開始した宗教改革において、思想が急速に拡散する技術的基盤となった。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. ボッティチェリ                      2. グーテンベルク                      3. ミケランジェロ                      4. シェークスピア

問6 16世紀初頭、オスマン帝国のスルタンであるセリム1世は、カイロを首都とし、シリアやエジプトを支配していた軍事政権を滅ぼしてその領土を併合した。この滅ぼされた王朝は何か。 (2007年 全国公立入試 類似)

1. アイユーブ朝                      2. ファーティマ朝                      3. サファヴィー朝                      4. マムルーク朝

問7 1618年に始まった三十年戦争の講和条約であり、神聖ローマ帝国の解体を決定づけるとともに、オランダ（ネーデルラント連邦共和国）やスイスの独立が国際的に承認される契機となった、1648年に締結された条約は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. ウェストファリア条約                      2. カルロヴィッツ条約                      3. ユトレヒト条約                      4. ピレネー条約

問8 17世紀前半に神聖ローマ帝国を舞台に勃発したキリスト教の新旧両派による対立は、フランスやスウェーデンなどの介入を招き、ヨーロッパ規模の大規模な国際戦争へと発展した。1648年の講和条約によって終結し、神聖ローマ帝国の事実上の解体をもたらしたこの戦争は何か。 (2009年 全国公立入試 類似)

1. 七年戦争                      2. 三十年戦争                      3. 八十年戦争                      4. 北方戦争

問9 15世紀から16世紀初頭にかけてメキシコ高原を支配し、独自の絵文字や太陽暦、神権政治を特徴とする国家が、テスココ湖の湖上に築いた都は何か。この都市は、後にスペイン人の征服者によって破壊され、その遺構の上に現在のメキシコシティが建設された。 (2009年 全国公立入試 類似)

1. テオティワカン                      2. テノチティトラン                      3. チチェンイツァ                      4. サクサイワマン

問10 17世紀前半、中国東北部で女真族が建てた国家は、明を支援する朝鮮に対して二度にわたる侵攻を行い、最終的に朝鮮を服属させて君臣の義を結ばせた。こののちに明の滅亡に乗じて中国全土を支配することになる、満洲族の王朝は何か。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 宋                      2. 清                      3. 明                      4. 元

問11 18世紀半ば、清の乾隆帝はヨーロッパ諸国との貿易を統制するため、来航地をある1つの港に制限し、特権商人に貿易の独占権を与えた。のちにイギリスがマカートニーらを派遣して制限緩和を求めたものの拒絶された、この清代の制限貿易において唯一の公認港とされた都市はどこか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 杭州                      2. 明州                      3. 広州                      4. 泉州

## 答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 4 永楽帝	明の第3代皇帝である永楽帝は、積極的な対外策をとり、諸国に朝貢を促すために宦官の鄭和を南海遠征に派遣した。この遠征により、東南アジアやインド洋沿岸の国々との朝貢関係が樹立・強化され、遠征軍は東アフリカ沿岸にまで達した。洪武帝（太祖）の政策とは異なる積極的な対外進出の一環である。
問2	答え 1 アユタヤ朝	アユタヤ朝（アユタヤ王国）は、14世紀から18世紀にかけてタイに存在した王朝である。16世紀末から17世紀初めにかけての朱印船貿易の全盛期には、首都アユタヤの郊外に大規模な日本町が形成され、山田長政などの日本人が王室に仕えて活躍した。
問3	答え 2 人身保護法	チャールズ2世の専制政治に対抗するため、1679年にイギリス議会在が制定した。これにより、司法手続きを経ない恣意的な逮捕や投獄が禁止され、個人の身体的自由を保障する近代法の先駆となった。のちの権利の章典などととも、イギリス立憲政治の基礎をなす重要な法律である。
問4	答え 2 エラスムス	ネーデルラント出身の人文主義者エラスムスは、ギリシア語新約聖書の校訂や『愚神礼賛』の執筆を通じて、当時のカトリック教会の腐敗や形骸化した儀礼を批判した。彼の思想はルターらの宗教改革に強い影響を与え、「エラスムスが卵を産み、ルターがそれを孵した」と評される。
問5	答え 2 グーテンベルク	15世紀半ばにドイツのマインツ出身の人物によって活版印刷術が実用化された。この技術は、書籍の大量生産を可能にし、ルターによる聖書のドイツ語訳などの出版物が急速に普及する要因となった。これにより宗教改革の進展が大きく促された。
問6	答え 4 マムルーク朝	セリム1世率いるオスマン帝国は、1517年にカイロを征服してマムルーク朝を滅ぼした。これにより、オスマン帝国は東地中海から紅海に至る交易路を掌握し、聖地メッカ・メディナの保護権も獲得して、イスラーム世界における地位を決定的なものとした。
問7	答え 1 ウェストファリア条約	1648年に締結されたウェストファリア条約は、三十年戦争の講和条約である。この条約により、神聖ローマ帝国領内の諸侯にほぼ完全な主権が認められて帝国は事実上解体し、またスペインからの独立を宣言していたオランダや、スイスの独立が正式に承認された。
問8	答え 2 三十年戦争	ベーメン（ボヘミア）のプロテスタントの反乱を契機に始まった、神聖ローマ帝国内の新旧両派の対立は、周辺諸国の介入により国際的な戦争へと発展した。1648年のウェストファリア条約によって終結し、帝国内の諸侯に主権が認められたことで、神聖ローマ帝国は事実上解体された。
問9	答え 2 テノチティラン	メキシコ高原のアステカ王国の首都として、14世紀にテスココ湖の湖上に建設された。高度な水利システムやチナンパと呼ばれる農法、巨大なピラミッド神殿を擁する大都市として繁栄したが、1521年にスペインの征服者コルテスによって征服・破壊され、その跡地にメキシコシティが築かれた。
問10	答え 2 清	17世紀前半、ヌルハチが建国した「後金」は、第2代ホンタイジの時代に国号を「清」と改めた。清は明との戦いを有利に進めるため、明を支援していた朝鮮に対して1627年（丁卯の役）と1636年（丙子の役）の二度にわたり侵攻した。朝鮮は敗北し、清を君主国、朝鮮を臣下とする宗属関係を結ぶことを余儀なくされた。
問11	答え 3 広州	清は1757年に欧州船の来航地を制限し、特権商人（公行）に貿易を独占させる体制を敷いた。イギリスは茶の輸入急増による銀の流出を防ぐため、マカートニーらを派遣して制限緩和や開港地の拡大を求めたが、清朝はこれを拒絶した。この体制下で唯一の公認貿易港として繁栄したのが広州である。